

【大腿骨近位部骨折】の【治療】のため、当院に入院された患者さんの【病棟歩行自立に至るまでの日数についての情報】を用いた研究に対するご協力をお願い

第1.0版 2026/3/17

研究責任者

所 属：リハビリテーション技術科

氏 名：片倉 哲也

このたび当院では上記の患者さんを対象にした研究を、当院の臨床研究倫理審査委員会の承認ならびに院長の許可のもと倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。

患者さんのプライバシー保護については、以下を遵守します。

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、【病棟歩行自立に至るまでの日数の他、氏名、患者番号、年齢、性別、身長、体重、入院前ADL能力(要介護度)、受傷前住居、受傷前歩行状態、受傷側、骨折型、手術方法、受傷日、手術日、術直後の荷重指示、既往歴、生化学検査(血中ヘモグロビン値や血清アルブミン値など)、認知機能評価(AMTS)、手術後リハビリテーション開始日、手術後離床開始日、手術後歩行開始日、退院時歩行状態、術後リハビリテーション量(実施単位数)、当院退院日、転帰、リハビリテーション経過(どの時期に何をやっていたか)、手術後1~3日と7日・14日及び退院日の基本動作能力、手術後7日・14日・退院日のバランス評価(修正timed up and go test)及び手術側下肢荷重率、手術後使用薬剤の処方状況、リハビリテーション時間以外に歩行練習を開始した日】です。その他の個人情報(住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの【病棟歩行自立に至るまでの日数についての情報】は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【病棟歩行自立に至るまでの日数についての情報】を結びつける情報(連結情報)は、本研究の研究責任者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合にのみ参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

ご自身の試料(例：血液など)や情報(例：カルテ内の情報など)の提供など、本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を問い合わせ先に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

対象となる方

2025年4月1日から2026年2月28日までの間に、当院にて大腿骨近位部骨折の治療のため入院し、診療・リハビリを受けた方

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

当院に大腿骨近位部骨折のために入院した患者さんの状態や入院経過を調査し、それらが歩行獲得までの日数にどのように影響を調査することを目的としています。

2. 研究で使用する試料・情報の項目

医師・看護師・リハビリテーションスタッフのカルテ記録

当院退院時のリハビリテーションサマリー

リハビリテーション病院退院時の返書(当院退院先からのリハビリテーションサマリー)

3. 試料・情報の利用を開始する予定日

当院院長による実施許可日 ～ 2028年3月31日

4. 試料・情報の提供を行う医療機関の名称及びその長の氏名

本試験で試料・情報を外部へ提供致しません。

5. 利用する試料・情報の取得の方法

既に当院で保有している試料・情報を使用しますので、本研究のために新たな取得は行いません。

6. 本研究の責任者名及び所属医療機関名

東京都済生会中央病院 リハビリテーション技術科 片倉哲也

7. 試料・情報の利用する者の範囲

東京都済生会中央病院 リハビリテーション技術科 片倉哲也

8. 海外へ試料・情報を提供する場合

この研究では外国へ情報を提供しません。

9. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東京都済生会中央病院 リハビリテーション技術科 片倉哲也

10. 試料・情報の利用停止を希望する場合

あなたの試料や情報を研究に使用することや、他の医療機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡先は、問い合わせ先をご確認ください。

11. 問い合わせ先

東京都済生会中央病院

リハビリテーション技術科 片倉 哲也

TEL：03-3451-8211（代表）